

芦別市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の

進ちよく状況をお知らせします

本市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき都道府県及び市町村に策定が義務付けられている温室効果ガス排出量削減のための措置に関する計画として、平成22年11月に芦別市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定し、本市の事務事業の実施に当たっては、本計画に基づき、二酸化炭素排出量の削減目標の実現に向けてさまざまな取り組みを行い、地球温暖化対策の推進を図ることとしています。今月は、平成24年度の進ちよく状況についてお知らせします。

●計画期間／平成22年度から平成26年度までの5年間

●基準年度／平成21年度

●二酸化炭素排出量の削減目標

基準年度排出量 平成21年度	削減目標	目標年度排出量 平成26年度
11,451,088 kg-CO ₂	6%	10,764,023 kg-CO ₂

1 平成24年度の二酸化炭素排出量

平成24年度の本市の事務事業における二酸化炭素排出量は、下表のとおりです。

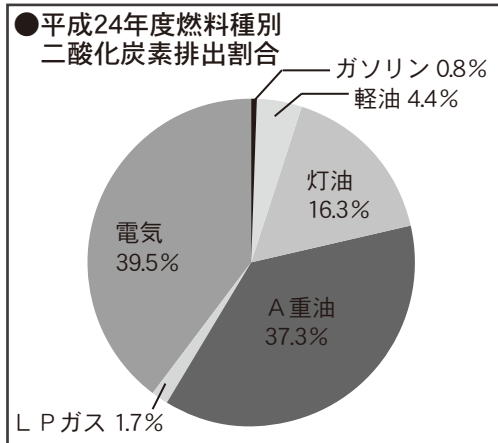
二酸化炭素排出量全体では、基準年度比で10.8% (1,236,091kg-CO₂) 減少となり、燃料種別では、電気が基準年度比で20.2% (1,020,911kg-CO₂) 減と最も減少していますが、電気に係る二酸化炭素排出量の算出基礎となる二酸化炭素排出係数は法律により毎年見直されるため(※1表参照)、二酸化炭素排出係数が基準年度と変わらなかった場合は、3.2%の減少、全体では基準年度比3.3%の減少となります。

●平成24年度の二酸化炭素排出量

燃料種別	平成21年度(基準年度)		平成24年度		増減率 (基準年度比)
	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	
ガソリン(ℓ)	34,107.00	79,128.00	35,250.50	81,781.00	3.4%
軽油(ℓ)	165,064.00	425,865.00	175,052.90	451,636.00	6.1%
灯油(ℓ)	668,853.00	1,665,444.00	668,004.30	1,663,331.00	-0.1%
A重油(ℓ)	1,485,150.00	4,024,757.00	1,406,260.00	3,810,965.00	-5.3%
L Pガス(m ³)	32,814.00	196,882.00	28,197.23	169,183.00	-14.1%
電気(kwh)	8,603,762.00	5,059,012.00	8,325,981.00	4,038,101.00	-20.2%
合計		11,451,088.00		10,214,997.00	-10.8%

※1 各年度の電気の使用に伴う二酸化炭素排出係数(単位: kg-CO₂/kwh)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
0.588	0.433	0.353	0.458



2 目標の達成に向けて

実質的には、全体で基準年度比3.3%の減少となり、削減目標の6%を達成できませんでした。電気の二酸化炭素排出量は下がっているものの、その他のエネルギーでは増加しているものがあることから、引き続き二酸化炭素排出量削減へ向けて一層の取り組みを推進します。

◎省エネルギーの推進
<ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素排出量のうち大きな排出要因である電気については、引き続き不要な照明の消灯やOA機器の電源を切るなど職員による一層の取り組みを推進します。 ガソリン、軽油など公用車燃料使用量の削減に向け、エコドライブの実施(やさしい発進の心がけや、無駄なアイドリングを止めるなど)や低公害車の導入を推進します。 灯油、A重油などの施設の燃料の使用量の削減については、更新の際に省エネルギー型設備の導入を検討します。 公用自転車の導入を推進します(平成25年度から本格実施)。
◎省資源の推進
両面・縮小コピーの徹底や、庁内LANの有効利用を図り、文書を印刷せずに電子媒体として扱うことによって、一層の紙使用量の削減を推進します。
◎その他
今後、地球温暖化・省エネ対策に関する意識の向上を目的とした職員研修の実施や、改善が見られない施設においては、聞き取り調査を実施するなど、更なる二酸化炭素排出量の削減に努めるとともに、省エネ法に基づく管理標準の策定に着手します。

●詳細／芦別市地球温暖化・省エネ対策推進本部